

- 5月の米鉱工業生産指数は5カ月ぶりのプラスも、小幅な持ち直しに。一方、6月のNY連銀製造業景気指数は大幅に持ち直したほか、同6カ月後予想指数は2009年10月以来の水準を回復。
- 米製造業の持ち直しは雇用や小売と比べ、今のところ限定的なものに。NY連銀製造業景気指数の6カ月後予想指数の上昇にみられるような動きが米製造業全体に波及するか、今後の動向に注目。

## 5月の米鉱工業生産指数は小幅な持ち直しにとどまる

16日に米連邦準備理事会（FRB）が発表した5月の米鉱工業生産指数は前月比+1.4%と、過去最大の低下を記録した前月の同-12.5%からやや持ち直したものの、市場予想の同+3.0%（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）を下回りました。製造業が同+3.8%と、5カ月ぶりにプラスに転じたものの、公益が同-2.3%、鉱業が同-6.8%と、足を引っ張りました。

内訳をみると、前月に同-76.5%もの落ち込みを記録した自動車・同部品が同+120.8%と、大幅に回復したほか、航空機・その他輸送機器やアパレルなど、耐久財、非耐久財を問わず大半の品目が上昇しました。一方、電力と天然ガスのマイナスが公益を押し下げたほか、石油・ガス採掘は同-36.9%と、前月の同-27.8%から低下率が拡大しました。

鉱工業生産指数は前年同月比では-15.3%と、前月の同-16.3%から小幅な持ち直しにとどまっており、9カ月連続でマイナスが続いています。

## 6月のNY連銀製造業景気指数は大幅な持ち直し

15日に発表された6月のニューヨーク（NY）連銀製造業景気指数は-0.2と、市場予想の-29.6を大幅に上回る持ち直しとなりました。同指数は、4月には過去最低となる-78.2へ落ち込みましたが、足もとで4カ月ぶりの水準を回復しました。

このほか、同6カ月後予想指数は56.5と、3カ月連続で上昇し、2009年10月以来、10年8カ月ぶりの水準を回復しました。主要項目の中でも特に新規受注や出荷の上昇が目立ちました。

## NY連銀指数の動きが米製造業全体に波及するか注目

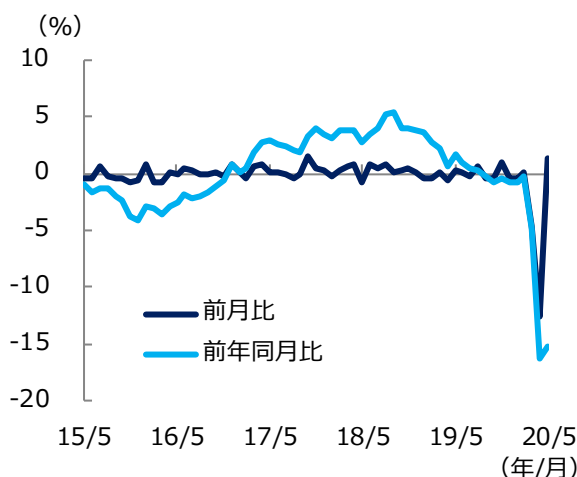
5月の雇用者数や小売売上高といった指標は、いわゆる「V字型」の回復に見える状況となっています。ただし、鉱工業生産指数の上昇は小幅であったほか、米供給管理協会（ISM）製造業景気指数は前月から上昇したものの、3カ月連続で景気のよし悪しの分かれ目とされる50の水準を下回る推移となっており、米製造業の持ち直しは雇用や小売と比べ、今のところ限定的なものにとどまっています。

こうしたなか、NY連銀製造業景気指数の6カ月後予想指数の上昇にみられるような動きが米製造業全体に波及するか、今後の動向が注目されます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

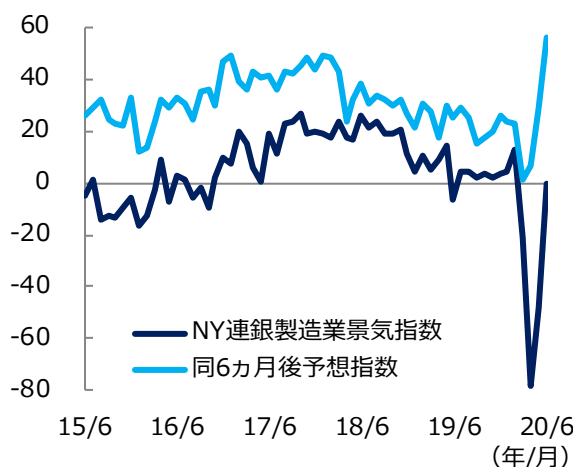
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

### 米 鉱工業生産指数の推移



※期間：2015年5月～2020年5月（月次）  
季節調整済み

### NY連銀製造業景気指数の推移



※期間：2015年6月～2020年6月（月次）  
季節調整済み

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

## 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

### 【投資信託に係るリスクと費用】

#### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

#### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

##### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

##### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

### 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。